

# 内外株式・債券のベンチマーク推移

平成25年9月30日現在



資産区分	ベンチマーク	平成22年度	平成23年度	平成24年度			平成25年度			
		3月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	
国内債券	NOMURA-BPI/Ladder 20年	149	155	157	158	158	163	159	162	
国内株式	TOPIX(配当込み)	1,103	1,109	1,001	969	1,131	1,374	1,508	1,599	
外国債券	シティグループ世界国債	291	305	294	295	336	359	375	381	
外国株式	MSCI-KOKUSAI	1,209	1,215	1,124	1,179	1,341	1,567	1,664	1,783	
		ベンチマークの収益率		+2.98%	△1.05%	△0.52%	+3.09%	+9.65%	+0.73%	+3.33%


(出典: Bloomberg等)

## 平成25年度 4月から9月までのベンチマークの動き

- 【国内債券】** 国内の長期金利は、4月4日に日銀が「量的・質的金融緩和」を決定したことを受け、10年国債利回りは一時史上最低の0.315%まで低下した後、乱高下。5月には米国長期金利の上昇や100円を超える円安を背景に、一時1%まで急上昇した。その後、株式市場の急落や為替市場での円高の進行により急低下。以後、安定的な低下基調で推移し、9月末のベンチマークは3月末に比べて小幅な下落に留まった。
- 【国内株式】** 国内株式は、日銀の「量的・質的金融緩和」により、円安の進行による企業業績の回復期待や、主要20カ国・地域(G20)財務相・中央銀行総裁会議での日本の金融政策の容認にも支えられ5月中旬まで大幅に上昇したが、FRB(米連邦準備制度理事会)による量的緩和縮小懸念や中国の景気指標の悪化に長期金利の急上昇が重なり一転して急反落、今年最大の下落を記録。その後6月のG8(主要8カ国首脳会議)において日本の金融政策が支持されたことを材料に円安に転じると反発。7月下旬以降、企業業績の失望等から軟調な展開となったものの、9月には4~6月期GDPの上方修正や2020年夏季オリンピックの東京開催決定、懸念されていたシリア情勢の緊張緩和等により大きく上伸し、9月末のベンチマークは3月末に比べて大きく上昇した。
- 【外国債券】** 米国・独の長期金利は共に上昇したが、為替は対ドル、対ユーロ共に円安が進行したため、9月末のベンチマークは3月末に比べて上昇した。
  - ・米国・独の長期金利は、米国では景気指標の軟調、独ではECB(欧州中央銀行)による追加金融緩和期待の高まりから低下して始まったが、5月以降は米国の経済指標の改善とFRB量的緩和縮小懸念、欧州のファンダメンタルズ改善期待の高まりから米・独共に上昇した。
  - ・為替は、4月の日銀の異次元金融緩和を受け大幅に円安進行。6月には成長戦略第3弾の内容への失望感から一時的に円高に転じたが、G8での日本の金融政策支持や米国長期金利の上昇を背景に再度円安基調となり、その後は横ばいで推移し、対ドルでは、98円12銭、対ユーロでは132円81銭で9月を終えた。
- 【外国株式】** 米国の好調な雇用統計やECBによる利下げ実施を受けて、5月中旬まで一本調子の上昇。その後、米量的緩和の縮小観測や中国における金融不安の懸念を背景に一時軟調に推移した。その後は米国・欧州・中国等で好調な経済指標があった一方で、シリア情勢やFRB議長の後任人事をめぐる観測、米国財政問題により一進一退の展開となったが、為替の大幅円安もあり9月末のベンチマークは3月末に比べて大きく上昇した。

## 平成25年度 長期給付積立金の運用状況(平成25年9月末現在)

### 1 資産構成割合の推移

	平成25年3月末			平成25年6月末		(単位:億円)			(参考)	
	時価総額	構成割合		時価総額	構成割合	平成25年9月末	基本ポートフォリオ		中心値	許容乖離幅
国内債券	59,602	61.0%		58,665	62.0%	59,684	61.2%	63%	±6%	
国内株式	12,615	12.9%		12,788	13.5%	13,610	14.0%	12%	±5%	
外国債券	5,129	5.3%		5,317	5.6%	5,079	5.2%	5%	±3%	
外国株式	9,942	10.2%		9,573	10.1%	10,236	10.5%	9%	±5%	
貸付金	3,754	3.8%		3,363	3.6%	3,230	3.3%	6%	±3%	
短期資産運用等	6,616	6.8%		4,932	5.2%	5,689	5.8%	5%	±2%	
合計	97,657	100.0%		94,638	100.0%	97,529	100.0%	100%	—	

注 それぞれの項目は、単位未満について四捨五入しているため、必ずしも合計と一致しない。

## 2 運用状況

〈修正総合利回り〉

	平成25年度第1四半期 (4~6月)	平成25年度第2四半期 (7~9月)	平成25年度通期 (4月~9月)	(参考) 平成24年度
国内債券	△1.32%	+1.06%	△0.26%	+3.78%
国内株式	+9.91%	+5.90%	+16.35%	+22.27%
外国債券	+3.89%	+1.84%	+5.80%	+17.83%
外国株式	+6.59%	+7.24%	+14.11%	+28.28%
貸付金	+0.60%	+0.60%	+1.20%	+2.39%
短期資産運用等	+0.09%	△0.01%	+0.07%	+0.32%
合計	+1.37%	+2.29%	+3.67%	+9.04%

$$\text{修正総合利回り} = \frac{\text{実現損益} + \text{未収収益増減} + \text{評価損益増減}}{\text{簿価平残} + \text{前期末未収収益} + \text{前期末評価損益}} \times 100(\%)$$